

会 議 記 録 （ 公 開 用 ）

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 26 年 3 月 13 日(木曜日)	開催時刻	13 時 30 分から 14 時 15 分頃まで
会議名	丸子地域協議会(平成 25 年度第 13 回)		
出席委員	斎藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、北村好美委員、 久保田和英委員、小宮山好豊委員、齋藤實委員、佐藤重喜委員、清水三枝委員、 竹花和彦委員、松山慶子委員、永井正一委員、宮下正明委員、村松正孝委員 （【欠席委員】工藤裕子委員、竹花節子委員、中澤ゆかる委員、宮坂雄一委員、 宮崎涼委員）		
市側出席者	片山丸子地域自治センター長、清水市民生活課長、高野健康福祉課長、小相沢建設課長、 丸山産業観光課長、滝沢上下水道課長、矢島丸子学校給食センター所長、 滝沢丸子地域教育事務所所長補佐兼社会教育係長 翠川地域政策担当係長、清水地域政策担当統括主査、澤山地域政策担当主任		

< 会議場所：丸子地域自治センター 4 階講堂 >

会議次第

- 1 開会（市民生活課長）
- 2 あいさつ（会長）

皆さん、こんにちは。第 13 回の丸子地域協議会をご案内申し上げましたところ、大変お忙しい中、ご出席いただき有難うございます。我々第 4 期の委員任期も、今日が最後の地域協議会となります。それぞれの立場の中でご報告を頂戴し、次期に申し送ることはしっかりと行いたいと思います。最後になりましたので、活発なご意見を頂きながら会議を進めて参りたいと思います。御苦労様でございます。

3 報告事項

(1) 分科会及び研究会での検討状況について

（ア）公共交通に関する分科会

（委員）分科会の検討結果報告書をお手元に配付しました。平成 23 年 9 月から公共交通専門部会として検討を重ねて参りました。平成 24 年 10 月に運行改定を行いました。まりんこ号の利用状況は依然減少傾向の厳しい状況にある。

それに関して、利用促進の活動として、「おたっしゃクラブ」の約 600 人の参加者に時刻表と利用案内のチラシを配付したほか、消費生活展で展示ブースを設けて「まりんこ号」の利用促進 P R 活動を行いました。路線バスと併せた中央病院前バス停乗り入れにより、路線バスとの乗り継ぎを可能としたほか、バス停の時刻表をわかり易い表示にするなど、利便性の向上を図りました。また、2 週間にわたる全便のバス停ごとの乗降者調査を行い、利用実態を把握しました。パートナーシップ事業の一環として、丸子修学館高等学校美術部にラッピングデザイン作成を依頼するという活動もしてきました。

検討を進める中で、次のような提案もされました。運賃低減バスの動向を踏まえ、起終点の変更等の検証をすること。進行ルート上のバス停を追加し、バス停間の距離を縮め利用促進を図る。ラッピング施工にあたり、デザイン選定について幅広く検討。乗降者数調査を引

き続き行い、逆周りルート、運行地域の検討も行う。

分科会としては次のように提案し、次期地域協議会においても引き続き分科会を設置し、様々な検討を行っていただきたい旨を申し送る。(1)運行改定後も利用者の減少が続いていることから、今後も定期的に乗降調査等を行い、運行ルート、時刻等の改善に努める必要がある。(2)「まりんこ号」だけでなく、運賃低減バスを含めて、丸子地域全体の公共交通利用促進を図るため、他団体等との連携行う。

<質疑・応答> なし

(イ) 丸子地域の子育て支援に関する分科会

(委員) 次期への申し送り事項の検討を行いました。前回ご報告の通り、3点について申し送るということで一致しました。妊婦・子育てにおける相談窓口をもっと身近な窓口システムの検討。子育て支援サポートについて、子育て世代や女性団体等の意見交換会をしながら地域のネットワークの構築について検討していく。子育てサロンの継続的充実についての検討。

は喫緊の課題なので、一番先に取りまとめて欲しい。一つとして、健康福祉課子育て支援係で、子育てサロンのアンケートをとっているの、その検討をしていく。二つ目として、更生保護女性会がボランティアとして子育てサロンに係わっているの、意見交換会を行う。三つ目として、西内子育て支援センター、長瀬出張広場の視察。以上を踏まえた上で、子育てサロンについて、市へ意見書を上げていく。以上の3点を確認しました。

また、上田市では、20人のメンバーによる子ども子育て会議を設置し、子ども子育て事業計画を審議するということで、既に2回会議が開催されている。その方向も注視をしていきたい。以上について、申し送りをします。

<質疑・応答> なし

(ウ) 新しい観光に関する研究会

(会長) 研究会が2月26日に開催されています。会議概要の説明をお願いします。

(委員) 平成24年6月から、「新しい観光」ということで検討をしています。新しい観光のスタイルという事で、丸子地区にある既存のもの、鹿教湯温泉だとか、里山だとか、地域のイベントなど、特色のあるものを利用して県の内外に発信していこうと。とにかく、情報発信をしていくということに重きを置いて、資料を取り寄せて意見交換して模索を重ねております。

そのなかで2月26日の研究会の話は、鹿教湯温泉の国民宿舎鹿月荘と健康センター・クアハウスについて、年々の利用者数の減少が見られる。平成15年には17,446人の宿泊者があったが、毎年減り続けて平成24年には10,170人。クアハウスのほうは、平成15年には26,808人がやはり平成24年には18,176人に減っている。リピーターにはダイレクトメールをすとか宣伝費もかけて努力はしているのですが、現在の状況に至っています。

もう一つの課題は、鹿月荘はもう25年、クアハウスは30年ほど経っており、だいぶ老朽化して、見た目にも劣化している。改修が必要となってくるという課題が持ち上がっている。私たちの研究会では、これらの施設を無くすとか、どうしようとか言うのではなく、まずは地域の皆さんの声。上田市には、鹿月荘と同じような場所は6箇所あるそうです。その内の鹿月荘と雲溪荘には宿泊施設があり、尚且つ身近にあって、これから後期高齢者が増える中で、マレットに行った帰りにそこを利用すとか、どうしたら皆さんに利用いただけるのか。やはり、模索していこうという話に会議ではなりました。

鹿月荘は宿泊客は減っているのですが、日帰り客はここ十年来変わっていない。昨年などは少し増えている。尚且つクアハウスは、旧上田からのリピーターが多く増えている状態になっている。鹿月荘では県内外の宿泊客はどうか、上田地域からの宿泊客はどうか、数字上で確認したりする。先日の市民活動団体の交流会でもありましたように、横のつながりを利用したネットワークづくりをして、もっと充実した活動が出来るのではないかと。

爆水ランなどは県外から沢山の参加者がある。それを鹿教湯温泉に集客しようという話もでて、取り組んでいく方向に決まりました。

< 質疑・応答 > なし

4 協議事項

(1) 平成 26 年度第 1 回わがまち魅力アップ応援事業の審査について

(事務局・地域政策係長)

資料に基づき、平成 26 年度わがまち魅力アップ応援事業の事業内容を説明。

合計 12 件の申請で、いずれも継続事業。新規の事業はなし。3 年目の申請が 2 事業、残りの 10 団体については 2 年目の申請。選考要領では継続事業につきましては、改めての審査は必要ないとされています。但し、大きく内容が変更になる場合には、改めて選考の対象となる。

その中で、事務局で提出された書類を審査しましたところ(資料右側の事務局事前審査結果欄参照)、ほぼ大幅な変更は無いという中で、「ゆうあいまるこ」は事業内容としては変更は無いが、5 ヶ年の計画の中で、漢字書き方カードの作成を前倒しして 2 年目にまとめて作成したいとのことでした。その作成したもので、3 年目、4 年目、5 年目のソフト事業をそのまま継続していきたいとの内容になっています。金額に変更はございますが、事業内容に変更はありませんので、継続の対象としてよろしいかと思います。

また、「内村っ娘の会」と「箱山城・桜ロードの会」は、備品購入予定の修正がありました。備品につきましては、あくまでも団体の皆様にお使いいただけるという確認をしたうえで、申請の通りの事業で受付します。

本来ですと、あらためて協議会の皆様にお諮りすることなく申請内容をそのまま許可するようになりますけれど、第 3 期の委員の皆様から、事業内容を明確にする事、また、各団体へ協議会の委員の意見を伝えてもらいたい等のご意見がございましたので、今回改めて継続の事業につきましても、詳細内容を示させていただきました。

事務局では、12 件全て継続で受付したいと思います。

< 質疑・応答 > なし

(2) 市民活動団体交流会の意見集約と地域課題提案の検討について

(委員) 交流会実行委員会座長

前回お配りした第 3 回市民活動団体交流会報告書をもう少し整理をして、何か申し送りを行うことがあればきちんとまとめようということで、昨日、実行委員会を開催しました。

申し送り事項としまして、「丸子地域協議会において、市民活動団体の連携を促進するための場の提供を検討すること。」でまとめました。本日、皆さんからご意見を頂きまして、申し送りに加えたほうがいいことがありましたら、盛り込んでいきたいと思います。

具体的な内容として資料に出しましたのは、第 3 回交流会の中で出されました意見のなかで、各グループの中で連携を模索する事案が出されましたので、次回の検討の参考になれば

という事で、‘例えば’という形で記載したものです。

(1) 花マップ作成等に関する連携の模索。丸子の事業を見ますと、花に係わる事業が多い。景観づくりと同時に花について、小さな拠点ではいくつか実施があるが、それが繋がって、例えば鹿教湯温泉への道筋が、それぞれの地区によって工夫された花壇がうまく整備されて鹿教湯温泉までつながっていく。そういう街道になったらいいなという願いなども出ていましたので例示しました。いろいろな花の事業をしている方々、それに花壇整備の方々、桜を育てているグループの方々、その方たちが連携して何か新しい事業、まち全体で取り組む事業が生まれればとてもいいことではないかと思う。

(2) 観光と文化交流に関する連携の模索。第4グループからは、多文化共生の方とか、ともだち英語の方とか、いろいろな交流の話の中で、例えば鹿教湯温泉に行って観光の勉強しながら、イベントのときに英語で何か役に立つ事があったら、何かをやりましょうという具体的な話も出てきていました。その次期になれば、皆さんが連絡を取り合いながら、連携していけるのではないかと。

(3) 地域の食に関する連携の模索。荒廃地を活用したソバの栽培事業などの食材を提供する側と、食を提供する側の連携。地域性を生かした地産地消の取組みになるのではないかという意見もありました。

地域振興課にお願いしながら、是非、連携の場の提供をお願いしたい。

<質疑・応答>

(委員) 市民団体交流会というのは、今年度で第3回目でした。過去2回は、どちらかと言うと意見交換の交流が主体でしたが、今年度初めて、具体的なテーマについての連携の話が進んできた。そういう積み重ねが到達してきたという事で、是非、次期の地域協議会に申し送りをしていただいて、各団体が連携するための場を設けるということを積極的に取り組んでいただくことをお願いしたい。

(委員) 私も地域食を考えようというグループに参加しましたが、単独ではなかなか出来ないが、他のグループと連携することでそれが出来るという可能性を見出しました。

(3) (追加案件) 第4期丸子地域協議会から第5期丸子地域協議会への引継事項

(事務局・地域政策係長) **事務局の第5期丸子地域協議会への6項目の引継事項を説明**

- (1) 旧カネボウ食堂棟活用について
- (2) 公共交通について
- (3) 子育て支援について
- (4) 新しい観光について
- (5) 商店街の活性化について
- (6) 市民活動団体の連携促進について

(斎藤会長) ご意見が無ければ、このまま第5期への引継ぎ事項とさせていただきます。

5 その他

(1) 次回以降の協議会日程について (事務局より説明)

4月15日(火) 第5期地域協議会の委員委嘱式及び第1回丸子地域協議会

3期6年を終了された村松委員から退任のご挨拶

（事務局・地域政策係長）提出済みの意見書の取扱い状況についての説明

「地域経営会議の設置に関する意見書」については、1月の地域協議会でも市民参加・協働推進課長からお話がありましたとおり、検討はなされているものの、回答案のほうは整っていない状況です。

「信州国際音楽村周辺整備に関する意見書」については、概ね皆様に回答をお示しする状況になっております。事務手続きを経たのちに、皆様には書面で結果をお伝えしたいと思います。3月中にはお届けできるかと思しますので、よろしくお願いします。

（センター長）私のほうから第4期の地域協議会の皆様に、一言御礼を申し上げたいと思います。2年間地域協議会委員として、地域の振興発展のため様々な調査研究活動を頂きました。振り返ってみますと、まりんこ号の関係、あるいは地域経営会議、信州国際音楽村の関係。中でもわがまち魅力アップ応援事業の関係、これは地域協議会が提言して市の担当部局のほうがこれまでの仕組みをさらに拡充して、今年度新しく制度化されました。まさに、丸子地域の皆さんの提言があって、新しい仕組みが出来たというところだと思います。加えまして、2月に行われました市民活動団体の交流会は先駆的な役割を果たしまして、交流・意見交換からさらに進化いたしました。連携、具体的な取り組みへと、本当に皆様方の発案と熱心な対応によりまして、進みつつあるということに對しまして、丸子地域を良くしていくんだという皆さんの熱い心意気を感じたところでございます。今後も地域の発展と振興に御尽力をよろしくお願いしたい。

なお、退任される委員の皆様におかれましては、今度は一市民として、私たち地域協議会及び自治センター職員に対して、様々な観点から御意見、御指導いただければと思います。最後になりますけれど、協議会委員の皆様の方の今後の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして御礼の御挨拶とさせていただきます。本当に長い間、有難うございました。

（会長）第4期の最後の丸子地域協議会の最後の会議でございました。委員の皆様には絶大な御協力をいただきまして、つつがなく第4期の2年間の丸子地域協議会を滞りなく終えることができました。あらためて、感謝と御礼申し上げます。

今回の会議をもちまして退任される委員の皆様には、今後とも地域のため、上田市のため、あるいは丸子地域のために御支援と御協力をお願いしたいと思います。

6 閉会

（本日、分科会の開催なし）